

分野	授業科目名	単位数	時間数	配当時期	担当教師
専門基礎	診断治療学Ⅱ —薬理学・臨床検査—	1	30	1年次 後期	京都第二赤十字 病院 医師・薬剤師

テキスト(発行所)	薬理学—薬のはたらきを知るやさしい薬理のメカニズム(学研) イラストで学ぶ薬理学(医学書院) 臨床検査—別巻 臨床検査(医学書院)
-----------	---

学習のねらい	治療のひとつである薬物療法の基礎および患者の状態把握のための臨床検査の意義と方法について学ぶ。
学習目標	薬物の特徴、作用機序、人体への影響および薬物の管理について理解する。 臨床検査の意義や種類、方法、生体への影響や、検査成績の解釈について理解する。

学習スケジュール

回数	主題	履修形態 他
【薬理学】	薬理学概論	
1回	薬理作用、作用機序、薬物動態	薬剤師 講義
2回	呼吸器用剤(ステロイド、B ₂ 刺激剤、テオフィリンなど)	薬剤師 講義
3回	循環器用剤(高血圧用剤、心不全用剤、狭心症溶剤、高脂血症用剤など)	薬剤師 講義
4回	消化器用剤(抗潰瘍、止痢剤、下剤、肝臓、膵臓、消化器用剤)	薬剤師 講義
5回	内分泌、代謝(糖尿病薬など)・アナフィラキシー	薬剤師 講義
6回	がん化学療法(抗癌剤の分類、作用機序、副作用、副作用対策)	薬剤師 講義
7回	抗菌薬(分類、作用機序、投与方法など)	薬剤師 講義
8回	麻酔、鎮痛、麻薬(分類、作用)・添付文書、処方箋の見方など	薬剤師 講義
9回	中枢神経用剤(催眠、鎮静、抗精神薬、抗うつ薬、抗パーキンソン薬、抗てんかん薬)	薬剤師 講義
10回	免疫、予防接種、諸毒、眼科用剤、皮膚科用剤など	薬剤師 講義
【臨床検査】	臨床検査とその役割・臨床検査の流れと看護師の役割	
1回	系統別臨床検査の進め方1	検査部医師 講義
2回	系統別臨床検査の進め方2・一般検査	
3回	血液検査・生化学検査(血清タンパク質・血清酵素の検査)	
4回	生化学検査(糖代謝・脂質代謝・胆汁排泄関連・腎機能・窒素化合物の検査)	
5回	生化学検査(水・電解質の検査、骨、鉄代謝など)・免疫、血清検査 ホルモン検査・生理機能検査/	
単位認定の方法	1. 30時間のうち、24時間以上の出席があること 2. 薬理学は65点満点、臨床検査は35点満点、計100点満点の試験を行う。 合わせて60点以上で診断治療学Ⅱの合格とする。	